



本会記事

■2013年若手学会発表賞の募集について

今年会においても、学会の関与する学術分野の発展に貢献する優秀な一般講演論文を発表（口頭発表またはポスター発表）した若手・学生会員に対して、「若手学会発表賞（旧：若手優秀発表賞）」（未来エネルギー研究協会協賛）を授与いたします。受賞者には、会長名の賞状および副賞を贈呈します。

ただし、受賞候補者となるには、事前の申請が必要ですので、ご注意ください。

「若手学会発表賞」の受賞は、次の条件をすべて満たす方が対象となります

- (1) 本学会の会員。ただし、入会手続き中の者は会員とみなしません。
- (2) 年会開催年4月1日（2013年4月1日）において満35歳以下または会議開催中に学生である方。ただし、出

産・育児等により長期休業された方は、年齢制限が緩和されますので、事務局までご相談ください。

- (3) 一般講演論文の筆頭著者の方。
- (4) 年会開始前に本賞候補者として事前申請している方。
- (5) 年会に参加登録し、かつ実際に登壇発表した方。
- (6) 本賞を過去に受賞したことがない方。

今年会の「若手学会発表賞」は、プラズマ物理、プラズマ応用、核融合、炉工学等の研究分野から、全体で8件程度、本学会学会賞選考委員会による厳正な審査の上、受賞者を選びます。

尚、受賞者の決定は、すべての候補者の講演終了の直後に行い、今年会のクロージング（閉会式）にて表彰を行います。したがって、候補者の方は、可能な限り、クロージングにも出席してください。

受賞資格を有する方は、ふるってご申請ください。幅広い研究分野から、多くのご申請をお待ちしております。

こちら編集委員会です

新年度スタート!?

学会誌6月号が読者皆様のお手元に届くのは6月末ですので、本誌をじっくり読んでいただけるのは、7月に入ってからでしょうか？ 実は、この7月というのは、編集委員会にとって「年度初め」となります。総勢約30名の編集委員の約半数が毎年7月に入れ替わり、新たな委員が入ってくるからです。編集委員会では、一ヶ月に一回、愛知県名古屋市に集まって、約半日かけて学会誌の記事内容や企画立案などを議論しています。プラズマ・核融合学会が扱う分野は幅広いため、編集委員は専門分野（一般プラズマ物理、磁場閉じ込め、慣性閉じ込め、核融合工学、プラズマ応用）ごとにわかれて、それぞれの記事を担当します。新委員は以下の方々です。気分一新、よろしくお願ひします。（成嶋）

一般プラズマ物理担当：柴田裕実（阪大）、林 信哉（九大）

磁場閉じ込め担当：浦野 創（JAEA）、糟谷直宏（九大）、徳沢季彦（NIFS）

慣性閉じ込め担当：長谷川純（東工大）、城崎知至（広島大）

核融合工学担当：落合謙太郎（JAEA）、笠田竜太（京大）、鈴木達也（長岡技科大）、菱沼良光（NIFS）

プラズマ応用担当：内田儀一郎（九大）、清水一男（静大）、増井博一（九工大）